

日本比較文化学会 第35回全国大会プログラム

2013年6月8日(土) 於 同志社大学 今出川キャンパス

プログラム

【シンポジウム】

時間：9:30～11:30

会場：良心館3階 RY304教室

テーマ：「比較文化学」はどのように教えられているか—現状と展望—

司会：山内信幸(同志社大学教授/日本比較文化学会会長)

- 川口雅也(浜松学院大学准教授/日本比較文化学会中部支部)
「比較の出発点」
- 山崎祐一(長崎県立大学教授/日本比較文化学会九州支部)
「異文化間コミュニケーション能力の基礎を培う英語教育の実践—比較文化を通して言語や文化を正しく深く理解する—」
- 佐藤知糸(湘北短期大学講師/日本比較文化学会関東支部)
「比較文化学の近接領域からの問い—教育学を例として—」
- 金英順(韓国・建陽大学校教授/韓国日本文化学会常任理事)
「韓国大学における「日本」関連教育の方向性」
- 落合由治(台湾・淡江大学教授/台湾日本語学会理事)
「台湾の日本語教育における日本事情、日本文化関係授業の現状と展望」

【研究発表】

時間：12:45～14:15(前半) 14:30～16:00(後半)

会場：良心館3階 RY403～RY409教室

【総会】

時間：16:15～16:30

会場：良心館3階 RY304教室

【講演】

時間：16:30～17:30

会場：良心館3階 RY304教室

講師：狩野博幸先生(同志社大学文化情報学部教授)

タイトル：「学際的研究の真の精華—伊藤若冲と経済学—」

【懇親会】

※事前予約制

時間：17:45～19:45

会場：アマーク・ド・バラディ寒梅館

研究発表

第1室(良心館4階 RY403教室)

〈前半〉12:45～14:15 司会：堀口誠信(徳島文理大学教授)

- 朱文菲(同志社大学大学院博士前期課程)
「文体のバリエーションと生じる印象の違いについて—日中韓の比較から—」
 - 林青樺(台湾・淡江大学助教授/台湾日本語学会理事)
「実現系の可能表現の意味について—否定形を中心に—」
 - 藤枝善之(京都外国語大学・短期大学教授)
「『シェーン』で学ぶアメリカ文化」
- 〈後半〉14:30～16:00 司会：八尋春海(西南女学院大学教授)
- 堀口誠信(徳島文理大学短期大学部教授)
「新入生英語診断テストの結果比較：文法項目とモチベーションに注目して」
 - 江秀姿(台湾・銘伝大学助教授)
梁蔚然(台湾・銘伝大学大学院修士課程)
「台湾で市販されているオノマトベ教材の分析」
 - 藤原まみ(九州栄養福祉大学講師)
「ラフカディオ・ハーンにおける身体と文字」

第2室(良心館4階 RY404教室)

〈前半〉12:45～14:15 司会：野口周一(湘北短期大学教授)

- 白川俊介(日本学術振興会特別研究員 PD)
「儒教の文化的伝統から見た西洋現代リベラリズムの批判的検討—倫理の「グローバル化」に抗じて—」
 - 第1室第6発表に移動(第2室後半の発表開始予定時間は変更なし)
 - 藤田昌志(三重大学准教授)
「吉野作造の日本論・中国論」
- 〈後半〉14:30～16:00 司会：石崎一樹(奈良大学准教授)
- 倉橋愛(大阪大学大学院博士後期課程)
「フォート・ウィリアムカレッジにおける教育活動についての文献学的考察」
 - 塚本美穂(京都外国語大学大学院後期課程)
「米国におけるキンセアニエラの浸透—メキシコ文化の混濁性」
 - 長谷川詩織(愛知教育大学教育創造開発機構研究員)
「飲酒のアボリアからの脱却—禁酒運動と映画の近代化—」

第3室(良心館4階 RY405教室)

〈前半〉12:45～14:15 司会：長谷部陽一郎(同志社大学准教授)

- 浦千里(関西大学大学院後期博士課程)
「ハムレットが語るエリザベス朝演劇の変化」
- 水町いおり(名古屋市立大学大学院博士後期課程)
「『ボヴァリー夫人』におけるジェンダー構造の考察—エンマの「男性化」、シャルルの「女性化」に焦点をあてて—」
- 伊藤佳世子(京都大学非常勤講師)
「Eugene O'Neillの舞台における苦悩と悲哀の表出手法—The Sniper と Shell Shockを中心に—」

第3室(良心館4階 RY405教室)

〈後半〉14:30～16:00 司会：安藤雅之(常葉大学大学院教授)

- 高橋貴之(公務員試験協会講師)
「ノア・ウェブスターのリベラル・エデュケーション論：若者論・女性論の一側面」
- 澤智恵(早稲田大学非常勤講師)
「ジョーゼフ・キャンベルと東洋神話」
- 佐藤静(宮城教育大学教授)
「心の支援の構造に関する考察(7)—心の支援の基盤レベルと対応レベルの関係性をめぐって—」

第4室(良心館4階 RY406教室)

〈前半〉12:45～14:15 司会：金志佳代子(兵庫県立大学准教授)

- 横地徳広(弘前大学専任講師)
「九鬼周造と、2人の父—彼らは〈いき〉な男だったのか?—」
 - 武富利亜(九州大学大学院博士後期課程)
「カズオ・イシグロの The Unconsoled における父親—父子関係と祖父孫関係を比較して—」
 - 黄如萍(台湾・国立高雄餐旅大学助教授/台湾日本語学会事務局長)
「坂口安吾「犯人」試論」
- 〈後半〉14:30～16:00 司会：近藤俊明(東京未来大学教授)
- 崔秀蓮(九州大学大学院博士課程)
「パンソリの語りにみる「悲壮」と「滑稽」の共存についての一考察」
 - 利根川由奈(京都大学大学院博士後期課程/日本学術振興会特別研究員)
「マルセル・プロローグの作品が提示するカテゴリーの境界—人間・美術・文化の観点から—」
 - 川越ゆり(東北文科大学短期大学部准教授)
「The Moorchild：現代アメリカファンタジーにおける伝承的モチーフ」

第5室(良心館4階 RY407教室)

〈前半〉12:45～14:15 司会：佐藤和博(弘前学院大学教授)

- 山内由賀(京都大学大学院博士後期課程)
「フランス第二帝政期における宗教と女子教育」
 - 西美都子(摂南大学非常勤講師)
「Wildeの反復表現に関する一考察—“The Nightingale and the Rose”について—」
 - 中村友紀(関東学院大学准教授)
「『白い悪魔』の disorder 表象とカタルシス：復讐劇によるパブリック圏生成の条件」
- 〈後半〉14:30～16:00 司会：梶原雄(同志社大学嘱託講師)
- 中村茂徳(西南女学院大学非常勤講師)
「ハードウィック・D. ローングリイ牧師に関する一考察—ケジック工芸学校について—」
 - 山内啓子(神戸松蔭女子学院大学准教授)
「『菓子』をめぐる日英対訳表現比較」
 - 山崎祐一(長崎県立大学教授)
「自文化発信のための国際交流と海外サービスラーニング—グローバル人材の育成を目指した外国語教育の実践—」

第6室(良心館4階 RY408教室)

〈前半〉12:45～14:15 司会：奥村訓代(高知大学教授)

- ティウク・イヒティアリ(京都大学大学院博士後期課程)
「日本語の「XはYがZ」構文とインドネシア語との対応関係について」
 - 岡良和(人間環境大学教授)
「英語句動詞 take in の比喩表現としての意味」
 - 江雯薫(台湾・淡江大学准教授)
「頻度副詞に関する一考察—程度副詞との関連をめぐって—」
- 〈後半〉14:30～16:00 司会：高橋栄作(高崎経済大学准教授)
- 王天保(台湾首府大学非常勤アシスタント教授)
「複文の推論関係について—接続助詞「けれども」と「のに」の比較を通して—」
 - 森永弘司(同志社大学嘱託講師)・北島美咲(同志社女子大学嘱託講師)
「2つの映画を使用したプレゼンテーション能力および英語力伸長の試み」
 - 奥村訓代(高知大学教授)
「防災弱者である外国人のための異文化と知識の共有に関する研究」

第7室(良心館4階 RY409教室)

〈前半〉12:45～14:15 司会：鈴木宣行(創価大学教授)

- 奥山裕介(大阪大学大学院博士後期課程/日本学術振興会特別研究員)
「内なる「異境」の発見—19世紀デンマーク文学・芸術におけるユラン半島ヒース文化の美的表象」
 - 関口英里(同志社女子大学准教授)
「現代消費社会における伝統文化の新たな発展—婚礼イベント企画開発プロジェクトを通して—」
 - 小笠原真司(長崎大学教授)
「長崎海軍伝習所が日本の近代化に果たした役割」
- 〈後半〉14:30～16:00 司会：山下明昭(香川大学教授)
- 郷賢(同志社大学大学院博士前期課程修了)
「日中対照研究に基づく感情表現の人称制限と表現形式について」
 - 林裕二(西南女学院大学教授)
「川端康成の「雪国」と Seidensticker 英訳の比較—呼称について—」
 - 曾秋桂(台湾・淡江大学教授/台湾日本語学会理事長)
「3・11 原発文学作品を教材とした授業試論—台湾の大学4年生が見た異文化の観点—」